**竜王町男女共同参画社会づくりに向けたアンケート**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 企業・事業所名 |  | ご担当者様名（連絡先） |  |
| 業　種 | １　　農業、林業３　　建設業５　　電気・ガス・熱供給・水道業７　　運輸業、郵便業９　　金融業、保険業11 医療、福祉13 教育、学習支援業 | ２　　鉱業、採石業、砂利採取業４　　製造業６　　情報通信業　８　　卸売業、小売業10　 不動産業、物品賃貸業12　　宿泊業、飲食サービス業 　　　14　　その他サービス業 |
| 15 その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 社員数 | 正社員（会社役員は除く） | 男性　　　　　　 　　　　人 | 女性　　　　 　　人 |
| 正社員以外（パート、アルバイト、嘱託職員など。ただし派遣社員は除く） | 男性　　　　　　 　　　　人 | 女性　　　　　 人 |
| 社員の平均年齢（※）（小数点第一位まで） | 男性　　　　　　　　　　　．　　　歳 | 女性　　　　　　　　　　　．　　　歳 |
| 社員の平均勤続年数 | 男性 | １　　５年未満　　　　　　３　　10年以上15年未満 | ２　　５年以上10年未満４　　15年以上 |
| 女性 | １　　５年未満　　　　　　３　　10年以上15年未満 | ２　　５年以上10年未満４　　15年以上 |

※小数点第二位を四捨五入して記入してください。

Ｑ１　貴企業・事業所には次の役職者のうち女性の役職者は何人いますか。該当者がいない場合は０を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 全役職者数 |  |
| うち女性 |
| 会社役員（代表者、事業主を含める） | 人 | 人 |
| 課長・部長相当職 | 人 | 人 |
| 係長（主任）相当職 | 人 | 人 |
| 合　　　計 | 人 | 人 |

Ｑ２　貴企業・事業所では、女性が活躍するための取り組み（ポジティブ・アクション）を実施していますか。あてはまるものすべての数字をお答えください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**→　回答**

１　性別により評価することがないよう、男女同一基準で人事考課基準を定めている

２　女性の管理職を増やすための目標値を設定している

３　女性がいない、また少ない職務について、意欲と能力のある女性を積極的に登用・採用する

４　女性管理職人材を、外部より登用している

５　キャリア形成のモデルとなるような管理職（男性・女性）を育成している

６　管理職や従業員に対し、女性活用の重要性について啓発をしている

７　仕事と家庭の両立のための制度を整備し、活用を勧めている

８　育児・介護などのために貴企業・事業所を退職した女性を再雇用する制度を設けている

９　特に実施していない

10　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ３　貴企業・事業所の女性が活躍するための取り組み（ポジティブ・アクション）に対する課題としてあてはまると思うものを、下記から選んでください。あてはまるものすべての数字をお答えください。　　　　　　　　　**→　回答**

１　女性の勤続年数が短い

２　女性に時間外労働や深夜に及ぶ業務をさせにくい

３　女性自身が昇進・昇格を望まない、または仕事に対して消極的である

４　女性が活躍するための取り組みの具体的な手法がわからない

５　管理職の日常業務が忙しく、現状では対応する余裕がない

６　男性管理職の認識、理解が不十分である

７　男性従業員の認識、理解が不十分である

８　女性が少ない、またはいない

９　自社にとってメリットがない

10　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ４　貴企業・事業所の育児休業の取得状況について、男女別にお答えください。

（令和４年４月１日から令和５年３月31日までの状況）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 配偶者が出産した**男性社員** | 人 | 出産した**女性社員** | 人 |
|  | うち育児休業を取得した**男性社員** | 人 |  | うち育児休業を取得した**女性社員** | 人 |
| 平均取得（予定）日数 | 日 | 平均取得（予定）日数 | 日 |

　　※出産の有無については、貴企業・事業所の把握している情報の範囲内でご記入ください。

Ｑ５　貴企業・事業所の介護休業の取得状況について、男女別にお答えください。

（令和４年４月１日から令和５年３月31日までの状況）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 介護休業を取得した**男性社員** | 人 | 介護休業を取得した**女性社員** | 人 |
|  | 平均取得日数 | 日 |  | 平均取得日数 | 日 |

Ｑ６　育児・介護休業制度の活用を進めていくうえで、貴企業・事業所で課題となることはどのようなことですか。あてはまるものすべての数字をお答えください。

　　　　　　　　　　**→　回答**

１　休業中の代行要員の確保

２　休業期間中の賃金補償

３　休業者の復職時の受け入れ体制の整備

４　休業者の能力低下への教育訓練など、復職のための支援

５　休業者の昇進・昇格の取扱い

６　休業者の周囲の従業員に対する業務負担の増大

７　制度の理解を深めるための取り組み

８　特に問題はない

９　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ７　貴企業・事業所では仕事と生活の調和「ワーク・ライフ・バランス」実現のため、どのような取り組みをしていますか。あてはまるものすべての数字をお答えください。

　　　　　　　　　　**→　回答**

１　勤務時間の短縮

２　始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度の導入

３　フレックスタイム制の導入

４　在宅勤務制度の導入

５　時間外労働の軽減または免除

６　所定内の労働の免除

７　育児・介護休業制度の導入

８　出産・育児・介護などに対する経費の援助

９　事業所内に託児施設の設置

10　子どもの看護休暇制度の導入

11　仕事と家庭の両立に関する相談窓口や担当者の設置

12　制度を利用しやすい雰囲気づくり

13　特にない

14　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ８　貴企業・事業所において、ワーク・ライフ・バランスを推進するために、課題となるのはどのようなことですか。あてはまるものすべての数字をお答えください。

　　　　　　　　**→　回答**

|  |
| --- |
| １　具体的にどのようにすればよいのかわからない２　取り組みが面倒３　人手が不足して手が回らない４　コスト面の負担にたえられない５　法律の範囲内で制度を設けており、それ以上は困難６　社員が必要としていない７　自社にとってメリットが少ない８　特にない９　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

Ｑ９　貴企業・事業所におけるハラスメント防止方針などについて、それぞれあてはまるものを１つお答えください。（令和５年４月１日現在）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 内部規則等で防止方針を明記 | 従業者を対象としたハラスメント防止の教育研修 | ハラスメント発生時の公正な処理を行うための組織 |
| セクシャル・ハラスメント | １．明記している２．掲載予定３．明記なし | １．実施している２．実施を予定している３．実施していない | １．ある２．設置を予定している３．ない |
| **回答→****（番号を記入）** |  |  |  |
| パワー・ハラスメント | １．明記している２．掲載予定３．明記なし | １．実施している２．実施を予定している３．実施していない | １．ある２．設置を予定している３．ない |
| **回答→****（番号を記入）** |  |  |  |
| マタニティ・ハラスメント | １．明記している２．掲載予定３．明記なし | １．実施している２．実施を予定している３．実施していない | １．ある２．設置を予定している３．ない |
| **回答→****（番号を記入）** |  |  |  |

Ｑ10　貴事業所が取得しているまたはこれから取得しようと考えている認証制度はありますか。

それぞれあてはまるものを１つお答えください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | **回答（（番号を記入してください）** | 取得している | これから取得しようと考えている | 取得していない取得しない |
| １．竜王町／滋賀県イクボス宣言企業 |  | １ | ２ | ３ |
| ２．滋賀県女性活躍推進企業 |  | １ | ２ | ３ |
| ３．滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業  |  | １ | ２ | ３ |
| ４．えるぼし認定企業 |  | １ | ２ | ３ |
| ５．くるみん認定企業 |  | １ | ２ | ３ |

Ｑ11　事業所での男女共同参画を進めるにあたって、町が今後、力を入れていくべきことについて自由に記載ください。

質問は以上で終わりです。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。